

職業と仕事

職業を一面的にとらえない

VRTの結果では職業名が例示されますが、自分の唯一の適職を決めるためのものではありません。また、職業は一つの仕事だけをやるというものでもありません。自己が一面的、固定的であるわけではないのと同じように、職業を一面的、固定的にとらえないようにします。自己理解・職業理解の材料の一つとして活用しましょう。

看護師の場合

看護師という一つの職業は、実際には様々な仕事を含んでいます。

職業(occupation)は、企業、事業所の枠を越えて、一定の類似性からまとめた一群の職務のことです。一つの職務(Job)は複数の課業(task)で構成されていて、課業とは一定の目的を持った仕事のまとまりのことをいいます。

患者が安心して診察・治療を受けられるように親しみをもって接することだけではなく、ケアに対する患者の反応を観察したり、普段と違う様子を感じ取ったりすることで異変の可能性に気づく、体温・脈拍、呼吸、血圧など(バイタルサイン)を測定する、……その他いろいろな領域の職務があり、その中に様々な課業があります。

それらの仕事はそれぞれ異なり、求められる職務能力も違うため、個人にとっては仕事により得意／不得意も、好き／嫌いもあります。得意な／好きな仕事への取り組みによって、やりがいを感じたり、不得意な／好きではない

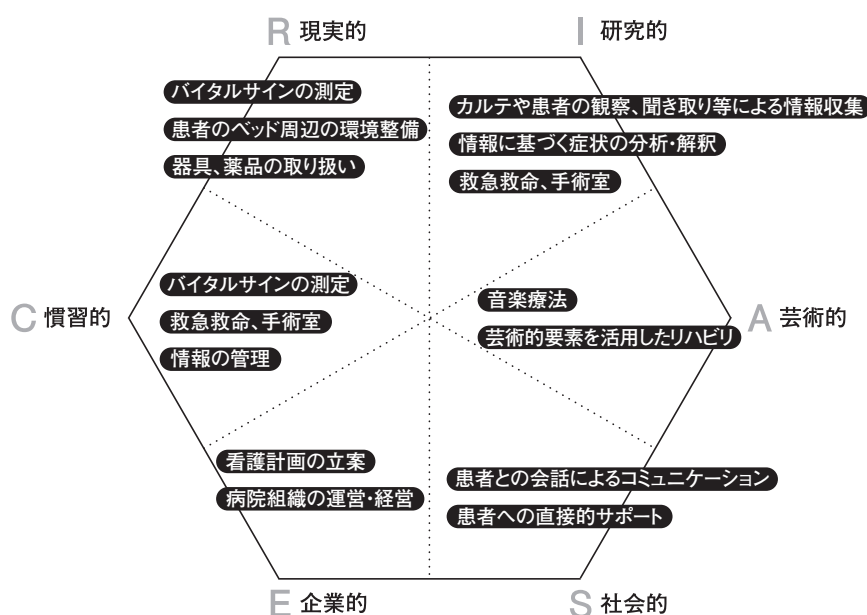
い仕事を補えることもあります。

一つの職業に就いたとしてもその中で複数の仕事をしていくのが普通であるということを理解し、職業名にとらわれすぎないことが大切です。VRTの六つの職業興味領域は、特徴的な傾向に基づき大きく類型化されたものであり、職業例もその領域的な仕事だけで成り立っているわけではありません。

看護師はSのタイプに分類されますが、そうした要素が強いということであって、多面的に職業、仕事をとらえる必要があります。

まず興味が高いという結果の出た職業について調べ、その中にどんな仕事があり、どのような要素に自分が興味を持っているかを手がかりにして、職業理解を進めていきましょう。

特定の職業と直接的に結びつけて解釈し、適職を決めることがVRTの本来的目的ではありません。Sが高く出たから看護師が向いている、と考える



よりも、Sが高く出た自分の中の「看護師的なもの」とはどういうところなのか、看護師の仕事の中の「S的な要素」はどういう内容なのか、あるいは同じSに分類されているものの中で自分が興味を持った職業の共通点は何だろう、などと考える機会にしてみてもいいでしょう。

イメージ、思い込みにとらわれない

また、中学生の情報ソースは限られ

た狭い範囲のものになりがちです。例えば、ときにわかりやすくパターン化して表現された一面的な職業像をテレビドラマや漫画、アニメ等から得て、イメージを刷り込まれていることもあります。そうしたものが実は偏ったイメージに基づいた思い込みだったこと、もつといういろいろな方法で広く知識を得ることの大切さに気づくきっかけになったとすれば、VRTを実施した意味は十分あると言えるでしょう。